

1. 新事務局、編集委員の紹介

2001年・2002年度を担当する新事務局および編集委員が決まりました。メンバー一覧は、本誌の奥付およびホームページ（奥付にアドレスが記載されています）から見る事ができます。事務局の住所は奥付に記載されています。入会、退会、住所変更等は学会センターへ、「土壌の物理性」原稿は編集委員会宛にお願いします。

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23
 山形大学農学部
 生物生産学科・生産生態制御学講座
 農地物理学分野
 土壌物理学学会編集委員会
 粕淵辰昭

2. 評議員（2001・2002年度）選挙結果

報告者：選挙管理委員長 加藤誠（東京農工大学）
 立会人：青木正雄，内ヶ崎万歳（日本大学）
 開票日：2000年10月23日
 評議員会承認：2000年11月18日
 当選者

区分域	当選者数	当選者氏名
北海道	3	矢沢正士（再），相馬尅之（再），菊地晃二（再）
東北	3	粕淵辰昭（再），古賀潔（再），藤井克己
関東	4	加藤英孝，溝口勝，谷山一郎，河野英一（再）
中部	1	足立一日出
近畿	1	荻野芳彦
中・四国	2	成岡市，井上光弘
九州	1	筑紫二郎
合計	15	注：（再）は二期連続

なお次期会長（2001・2002年度）として、東京大学大学院宮崎毅教授が評議員会で承認された。また、会則第6条(2)口により、石渡輝夫（独立行政法人北海道開発土木研究所），山口紀子（東京大学大学院），長裕幸（佐賀大学農学部）の3名が会長から評議員を委嘱された。

3. 2001年度第1回事務局会議

日時：2001年7月13日
 会場：東京大学農学部7号館A棟512号室
 出席：宮崎，岡崎，溝口，井本，関，粕淵
 議事：会計の確認，評議員選挙結果の取り扱い，学会編集委員会報告，投稿規定の見なおし，規約

の見なおし，シンポジウムについて，評議員会の開催，学会誌「土壌の物理性」の電子化，学会のメーリングリスト

4. 2001年度第1回評議会

日時：2001年7月27日（金）12：20-13：10
 場所：農業土木学会（岩手大会）第2会場
 出席者：会長：宮崎，評議員：菊地・相馬・長谷川（矢沢代理）・粕淵・古賀・河野・井上・西村（成岡代理）・小野寺（石渡代理）・山口・長・溝口（庶務幹事兼務）・他委任状6，事務局（関，井本）

議題

- (1) 会長あいさつ
- (2) 事務局・役員名簿の確認
 - ・今期の事務局および評議員の確認が行われた。
 - 会則第6条(1)により，会長・副会長・編集委員長
 - 会則第6条(2)イロにより，18名の評議員
- (3) 評議員選挙結果の取り扱いについて
 - ・宮崎会長が関東地区の評議員として選出されたので，会長は評議員を兼務しないという会の慣例に従い，関東地区の評議員について再確認がなされ，了解された。
- (4) 会則の改正について
 - ・会則の下記「附則」部分を改正することを11月の総会に諮ることにした。
 - ・附則
 - 1) 本学会の連絡先は，これを当分の間に置く。
 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
 東京大学大学院 農学生命科学研究科
 生物・環境工学専攻 環境地水学研究室内
 - 2) 本会則は，2001年4月1日より施行する。
- (5) 編集委員会
 - 1) 編集委員が認められた（会則第9条（2））
 - 2) 編集業務を編集業務（山形大）と印刷関係業務（東大）に分離することが了承された。これにより，原稿投稿先は山形大学とすることが確認された。
 〒997-8555 鶴岡市若葉町 1-23
 山形大学農学部 生物生産学科内
 土壌物理学学会編集委員会
 粕淵辰昭
 - 3) 学会誌の発行予定について報告され，了解された。
 88号（2001.9），89号（2001.12），90号（2002.3）
 91号（2002.7），92号（2002.11），93号（2003.3）
 - 4) 投稿原稿の状況について報告された。

5) その他

Summary の扱い、投稿ガイドライン (2001. 5. 20) の明文化、広告、講座・研究ノート、測定法、英文の書き方、論文の書き方、若手研究者のための土壌物理学入門など、学会誌を充実させる案が示されたが、これらについては編集委員会に委ねることにした。また、現場の農業に役立つ土壌物理性のデータの取り扱いについて、編集委員会として工夫してほしいとの意見が示された。

(6) 第 43 回土壌物理学学会シンポジウムについて下記の案が認められた。

11 月 20 日 (火) 東大弥生講堂

テーマ: 土壌の汚染と浄化における土壌物理学の貢献

ポスター発表: 土壌物理研究の最前線

Trend in Soil Physics

(7) 学会誌「土壌の物理性」の電子化について

バックナンバーを PDF にして今秋頃公開する (検索機能付) ことが認められた。ただし、公開するのは 1 年前までのものとし、公開方式 (パスワードの有無) については ML 上でさらに議論を重ねることとした。

(8) 学会事務の IT 化について

メーリングリストとホームページを積極的に活用することが確認された。

(9) 報告

- 1) 学会会計の現状について
- 2) 土壌物理用語事典の進捗状況について
- 3) 学会費請求書の発送について

5. 会員入退会者および現在会員数 (2001. 4-2001. 6)

1. 新入会員

正会員	氏名	所属
	上沢正志	農業環境技術研究所
	山口紀子	東京大学大学院農学生命科学研究科

2. 退会者

正会員

	宮沢数雄	Oct-01	自宅
	愛宕徳行	Oct-01	自宅
	小山雄生	Oct-01	自宅
	松本 智	Jul-01	北海道開発局建設部 農業開発 1 課
	高橋義明	Jul-01	農業環境技術研究所
	長田 昇	Jul-01	自宅
	権藤昭博	Jul-01	中央農業総合研究センター
	横山達平	Jul-01	自宅
	吉田隆輝	Aug-01	苫小牧高等専門学校
学生会員	大石常夫	Jul-01	東京農業大学地域環境科学部
賛助会員	ヒロセ理化	Jul-01	ヒロセ理化

3. 会員現在数 (2001. 9. 30 現在)

正会員	: 450 名
学生会員	: 26 名
購読会員	: 56 機関 (店舗含む)
賛助会員	: 11 社
海外会員	: 4 名
海外購読会員	: 1 機関

合 計 : 544